

2016年度  
 全国社会科教育学会 第65回全国研究大会  
 社会系教科教育学会 第28回研究発表大会  
 合同研究大会プログラム

1 期 日 2016年10月8日(土)・9日(日)

2 場 所 兵庫教育大学加東キャンパス嬉野台地区 講堂・共通講義棟・教育子午線ホール  
 〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

3 日 程

第1日(10月8日)

	9:00	9:30		12:30	13:30		17:00	17:45
	受付	自由研究発表1	全社学 理事会 昼食		シンポジウム 於 講堂	全社学 総会 講堂		懇親会 学生食堂

18:00 19:30

第2日(10月9日)

	9:00	9:30		12:00	13:00	13:30		16:30
	受付	自由研究発表2	社会系 理事会 昼食	社会系 総会 106教室		課題研究発表 課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 於 共通講義棟・教育子午線ホール		

4 主催



全国社会科教育学会



社会系教科教育学会

5 後 援

国立大学法人 兵庫教育大学  
 兵庫県教育委員会  
 神戸市教育委員会  
 加東市教育委員会

合同研究大会事務局

〒673-1494

兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 社会系教科教育研究室気付

☎ Tel/FAX 0795-44-2306

E-mail:hiroseki@hyogo-u.ac.jp(關)

第1日 10月8日(土)

於：共通講義棟

自由研究発表[1] (9:30~12:30)

【第1分科会】(1階 102教室)

司会者 富山大学 岡崎 誠司

- (1) 9:30 学校教育におけるESDの意義と展望  
兵庫教育大学大学院 渡邊 幸太
- (2) 10:00 グローバル・シティズンシップを育成する小学校社会科産業学習の授業開発  
—小学校第5学年「富山で行われている新しい農業」の単元開発—  
富山大学大学院 奥田 貴一
- (3) 10:30 主体的価値観形成を目指す小学校社会科ESD教材の開発  
—環境経済学の成果による「ごみ問題」の授業改善—  
富山大学大学院 永田 暢之
- (4) 11:00 倫理的多元主義としての経済教育—基本とカリキュラム構想—  
日本体育大学 猪瀬 武則
- (5) 11:30 経済倫理的学習の授業構成と展開  
—情報の非対称性の場合—  
日本体育大学 猪瀬 武則 東京都立雪谷高等学校 小貫 篤  
三重大学 山根 栄次 東洋大学 栗原 久  
実践女子大学 高橋 桂子 名古屋女子大学 宮原 悟  
山梨大学 服部 一秀
- (6) 12:00 講義かアクティブラーニングか?  
—米国経済学会の経済学教授方法論争—  
日本体育大学 猪瀬 武則

【第2分科会】(1階 103教室)

司会者 同志社女子大学 藤原 孝章

- (1) 9:30 論争問題学習における教師のプロフェッショナル・ジャッジメント  
—生徒理解と教師の意見表明の関わりに焦点を当てて—  
岡山大学大学院 岩崎 圭祐
- (2) 10:00 1955年前後の中学校社会科再編期における学習の「総合」性の検討  
—教育課程審議会の中間発表とその反響の整理を中心に—  
東京都立農業高等学校 大木 匡尚
- (3) 10:30 国際紛争の平和的解決を考える中学校社会科の授業構成の研究  
—Choices in International Conflictのカリキュラムを手がかりに—  
福岡教育大学大学院 飯塚 康浩
- (4) 11:00 初期社会科における「観」の研究  
—上田薫の教育言説の思想性に着目して—  
広島大学大学院 大野木 俊文
- (5) 11:30 日本史教育の研究  
—1945年夏ソ満国境の街虎頭の住民に起こったこと—  
兵庫県立須磨東高等学校 山下 恭
- (6) 12:00 子どもの社会構想を育む都市環境教育に関する研究  
—英国地理教科書 earthworks plus の場合—  
広島大学大学院 豊田 美沙貴

【第3分科会】(1階 104教室)

- |     |       |   |                              |
|-----|-------|---|------------------------------|
|     | 司会者   | 国立教育政策研究所   | 樋口 雅夫                        |
| (1) | 9:30  | 高校新設科目「歴史総合」のためのカリキュラム開発研究<br>－単元「プロパガンダの歴史」の場合－  | 兵庫教育大学大学院 森安 時生              |
| (2) | 10:00 | 政治参加能力としての市民的資質を育成する中学校社会科学習の開発<br>－「ジェンダーをめぐる労働政策」を用いて－  | 福岡教育大学大学院 丸山 由希也             |
| (3) | 10:30 | 官学連携による地域学習としての「宇治学」副読本作成と現場での活用に関する研究Ⅱ－第6学年『ふるさと宇治』の魅力大発信』を事例に－  | 京都文教大学 橋本 祥夫・澤 達大            |
| (4) | 11:00 | 現代中国における法治教育の総合的研究<br>－日中韓台との比較分析の可能性－  |                              |
|     |       | ○上越教育大学 梅野 正信      ○華東師範大学 沈曉敏      台北教育大学 翁麗芳<br>○愛媛大学 福田 喜彦      広島県立戸手高等学校 蔡秋英      光州教育大学 李貞姫<br>○鳴門教育大学 井上 奈穂      聖徳大学 岡田了祐      石巻専修大学 新福 悦郎 |                              |
| (5) | 11:30 | シティズンシップ教育としての科学・技術教育<br>－社会的文脈における持続可能性を基準として－   | 東北大学 谷口 和也<br>東北大学大学院 中野 瑛亮子 |
| (6) | 12:00 | 「環境」の領域からの世界史教育内容開発<br>－資源・エネルギー問題に着目して－  | 奈良県教育委員会 祐岡 武志               |

【第4分科会】(1階 105教室)

- |     |       |   |                         |
|-----|-------|---|-------------------------|
|     | 司会者   | 東京学芸大学  | 渡部 竜也                   |
| (1) | 9:30  | 多角的な視点からの「歴史大観学習」<br>－日本近代史を大観する中学校歴史授業モデル－                   | 兵庫教育大学大学院 小谷 好弘         |
| (2) | 10:00 | 解釈の変遷を生かした中学校歴史教育内容開発<br>－「秀吉の朝鮮侵略」を事例として－                    | 橿原市立畝傍中学校 島田 龍太         |
| (3) | 10:30 | 思考力・判断力・表現力を育成する地域教材を活用した中学校社会科歴史学習指導法の開発－将来の三原をリーフレットで提案しよう－ | 広島大学大学院・熊野町立熊野中学校 斉藤 弘樹 |
|     |       | 昭和戦前期東海地方における郷土教育に関する一考察                                      | 発表取消<br>共栄大学 田中 卓也      |
| (4) | 11:00 | 歴史教育における災害学習についての研究<br>－小単元「安政大地震と江戸社会」の開発を通して－               | 高水高等学校・附属中学校 西村 豊       |
| (5) | 11:30 | 構成主義歴史教育論に基づいた高等学校日本史授業の開発<br>－単元「近代国家の建設」における協同学習を通して－       | 佐賀県立鹿島高等学校 田川 秀樹        |

【第5分科会】(1階 107教室)

- |     |         |   |                |
|-----|---------|---|----------------|
|     | 司会者     | 国立教育政策研究所   | 二井 正浩          |
| (1) | 9 : 30  | 地域教材を活用した中学校社会科歴史的分野における授業開発<br>－明治維新期の「神戸事件」を事例として－<br>兵庫教育大学大学院                 | 山下 泰司          |
| (2) | 10 : 00 | 物語教材を活用した社会問題学習の単元開発研究－小学校小単元「痛みを分かち合い、ともに歩む－森永ヒ素ミルク中毒事件－」の開発を通して－<br>岡山大学大学院     | 夏川 真名          |
| (3) | 10 : 30 | 道徳授業の質的転換と社会科教育<br>香川大学   | 伊藤 裕康          |
| (4) | 11 : 00 | 小学校社会科における価値学習の授業構成<br>－子どもの自主的自立的な価値観形成に向けて－<br>岡山理科大学                           | 紙田 路子          |
| (5) | 11 : 30 | 主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学習<br>－中学校における「価値に関する認識」を形成する授業モデル－<br>岐阜県博物館<br>中津川市立坂本中学校 | 児山 耕生<br>松原 元樹 |
| (6) | 12 : 00 | 主権者教育とは何を教えればよいのか、何ができればよいのか<br>－一定時制高校生との対話から－<br>神戸市立神戸工科高等学校                   | 秋山 明之          |

【第6分科会】(1階 111教室)

- |     |         |   |               |
|-----|---------|---|---------------|
|     | 司会者     | 京都女子大学  | 松岡 靖          |
| (1) | 9 : 30  | 社会科授業における学習集団の形成と発展<br>山口大学大学院  | 梅木 勇治         |
| (2) | 10 : 00 | 米国における社会科教員養成のためのナショナル・スタンダードの構成<br>国立教育政策研究所   | 堀田 諭          |
| (3) | 10 : 30 | 小学校社会科「讃岐うどん」の教材開発<br>－第3学年「工場の仕事」の実践から－<br>香川県宇多津町立宇多津小学校  | 河野 富男         |
| (4) | 11 : 00 | 社会科固有の「読解力」形成のための授業開発研究 (IV)<br>－第4学年単元「住みよいくらしと水」の場合－<br>兵庫教育大学 ○関 浩和 ○吉水 裕也<br>兵庫教育大学附属小学校 ○土松 拓生 | 原田 智仁<br>森 清成 |
| (5) | 11 : 30 | 論争問題学習に取り入れるべき構成要素<br>－授業実践「国道の自転車安全対策について考える」(第6学年)を手がかりに－<br>お茶の水女子大学附属小学校                        | 岩坂 尚史         |
| (6) | 12 : 00 | コンピテンシー・ベースの社会科単元開発<br>－問題解決の文脈における「概念」の明示－<br>山形大学   | 江間 史明         |

【第7分科会】(1階 113教室)

- |           | 司会者   | 四天王寺大学          | 中本 和彦               |
|-----------|---|-----------------|---------------------|
| (1) 9:30  | 地理教材研究資料論<br>—何をどのように読めばどのような授業が作れるのか—                        | 広島大学大学院         | 稲垣 和                |
| (2) 10:00 | 「対立を処する」ための学習の組織<br>—「貿易ゲーム」のディブリーフィングの改良を通じて—                | 神戸大学大学院         | 大山 正博               |
| (3) 10:30 | 社会科は「コミュニケーション的不確実性」をどう扱うか①<br>—合意形成学習評価の批判的検討を通じて—           | 神戸大学大学院         | 馬場 大樹               |
| (4) 11:00 | 英国のEU離脱国民投票を題材とした同時進行型社会科授業の試み<br>—過去と現在・未来をつなぐ問題解決学習の一試案として— | 神戸大学<br>神戸大学大学院 | 吉永 潤<br>大山 正博・馬場 大樹 |
| (5) 11:30 | 「震災復興支援」をテーマとした社会科授業デザイン<br>—「防災教育」「復興教育」から「希望創造教育」へ—         | 広島大学            | 小原 友行               |
| (6) 12:00 | 社会的事象の意味や意義、自称間の関連を捉えるための授業デザイン                               | 岐阜大学教育学部附属中学校   | 前田 佳洋               |

【第8分科会】(1階 204教室)

- |           | 司会者   | 岐阜大学       | 須本 良夫  |
|-----------|---|------------|--------|
| (1) 9:30  | 類似性の認知プロセスを組み込んだ小学校社会科授業の開発                                       | 兵庫教育大学大学院  | 石田 誠   |
| (2) 10:00 | 現象から本質にいたる因果関係の探究過程を組み込んだ中学校社会科授業の開発<br>—小単元「世界の諸地域・アフリカ州」を事例として— | 兵庫教育大学大学院  | 魚谷 亮太  |
| (3) 10:30 | 複雑な因果関係を捉える社会科授業の開発<br>—検証過程に着目して—                                | 箕面市立第六中学校  | 芝 貴文   |
| (4) 11:00 | 概念形成の視点に基づく小学校地図学習の改善—スケール認識形成を意図した<br>第4学年における縮尺と等高線の指導を通して—     | 畿央大学       | 小谷 恵津子 |
| (5) 11:30 | モニタリングを組み込んだ小学校社会科授業の開発<br>—検証場面に着目して—                            | 兵庫教育大学大学院  | 下野 哲宏  |
| (6) 12:00 | 意志決定につながる分析視点の獲得・強化を図る地理授業の開発                                     | 三田市立上野台中学校 | 王子 明紀  |

【第9分科会】(1階 205教室)

- |           | 司会者   | 鳴門教育大学           | 梅津 正美          |
|-----------|---|------------------|----------------|
| (1) 9:30  | 中学校社会科における批判的参画学習の単元開発研究<br>－ユーリア・エンゲストロームの活動理論に注目して－                                   | 岡山大学大学院          | 大西 智也          |
| (2) 10:00 | 歴史をその日のニュースの問題解決に応用するシステムを用いた学習の分析<br>－協調的な歴史的類推を促すグループ編成に着目して－                         | 東京大学大学<br>東京理科大学 | 池尻 良平<br>澄川 靖信 |
| (3) 10:30 | 法社会史研究にもとづく小学校社会科歴史学習の授業開発<br>－社会システムと心性の理解を通して－  | 広島大学大学院          | 中川 琢麻          |
| (4) 11:00 | メルヘンを教材として活用した高校世界史の授業内容開発<br>－「白雪姫」・「シンデレラ」を用いて－                                       | 佐賀県立佐賀東高等学校      | 堤 敏浩           |
| (5) 11:30 | 学習指導要領（試案）昭和22年度社会科編（I）・「附 作業単元の例」の背景<br>と原型－1940年代の米国加州における「経験の領域」の授業・カリキュラム化<br>を中心に－ | 宮崎大学名誉教授         | 谷本 美彦          |
| (6) 12:00 | 社会科とリテラシー教育の統合による市民性育成<br>－アメリカにおける授業論を比較考察して－  | 岡山大学             | 山田 秀和          |

【第10分科会】(1階 207教室)

- |           | 司会者  | 大阪体育大学      | 岡崎 均  |
|-----------|--|-------------|-------|
| (1) 9:30  | 目標と指導と評価の一体化で思考力を育てる社会科授業<br>－思考の見える化を行う『+タグ』ウェビング法』を活用して－ | 宝塚市立売布小学校   | 寺岡 寛史 |
| (2) 10:00 | 時間軸の視点を組み込んだ小学校産業学習の授業開発<br>－第5学年「水産業のさかんな地域」を事例にして－       | 本巢市立真桑小学校   | 福田 弥彦 |
| (3) 10:30 | 小学校における多文化的歴史教育の授業開発<br>－J.Aバンクスの社会的評価アプローチを手がかりに－         | 神戸大学附属小学校   | 太田 満  |
| (4) 11:00 | 小学校社会科における公共概念の重要性をとらえる授業開発<br>－「具体－抽象型」概念カテゴリー化学習を基に－     | 広島大学附属東雲小学校 | 新谷 和幸 |
| (5) 11:30 | 子どもの分析的思考を成長させる小学校社会科の授業開発<br>－仮説設定場面におけるアブダクションを中心にして－    | 伊丹市立緑丘小学校   | 井上 和也 |
| (6) 12:00 | 複数の歴史事象から時代を越える共通点を導き出す小学校社会科授業の開発<br>－歴史地図を使った路の授業をとおして－  | 兵庫教育大学大学院   | 西尾 諭  |

【第11分科会】(1階 212教室)

司会者 福岡教育大学

豊嶋 啓司

- (1) 9:30 子ども達の問いをつくる近現代史授業実践の省察  
—エンパシーを意識化しての単元・教材・授業づくり—  
大阪狭山市立南中学校 奥田 修一郎
- (2) 10:00 市民による歴史実践の方法と課題  
—鹿児島県出水市における平和学習プログラムの場合—  
鹿児島大学 田口 絃子
- (3) 10:30 中学校社会科歴史授業の開発  
—気候変動と仏教の関係に着目して—  
西宮市立甲武中学校 山下 裕子
- (4) 11:00 功利主義・義務論・徳倫理を手がかりとした生命倫理学習  
石原 純
- (5) 11:30 市民的資質を育成する社会科パフォーマンス課題の検討  
—米国のPBL理論を手がかりに—  
福岡教育大学 豊嶋 啓司  
飯塚市立小中一貫校 柴田 康弘  
筑波大学大学院 木下 祥一

---

全国社会科教育学会・理事会(12:30~13:30)

総合研究棟3F

大会議室

---

---

シンポジウム(13:30~17:00)

講 堂

---

シンポジウムテーマ

## 社会系教科教育は主権者の育成にどう取り組むか

改正公職選挙法成立によって、選挙権が20歳以上から18歳以上に引き下げられる。このことから主権者の育成が大きく耳目を集め、各校種の教育課程への位置づけと授業実践のあり方が模索されている。小・中学校においては、特別の教科「道徳」の導入を目前にして、道徳教育における主権者の育成が課題の一つとなっている。市民的資質の育成を中核とする社会系教科教育においても、大きな課題である。

小・中・高等学校の社会系教科教育においては、どのような系統性をもたせて主権者の育成に関わる学習をしていくべきかが問われている。とりわけ、選挙権をもつ高校生のいる公民科での対応が、喫緊の課題となっている。しかし、学校教育現場では、その意味や目的に関して、大きく二つの意味合いによって、今後、混乱が生じてくるのではないかと予想される。

広義の意味合いでは、態度や価値の育成を目指し、社会に貢献できる人材を育てることを目的としたシティズンシップ教育の中核として位置付けていこうとする動きがある。狭義の意味合いでは、選挙における投票行動を視野に入れた政治意識の高揚への希求に関する動きがある。しかし、現状は、選挙のためのスキル学習であったり、十分な根拠に基づかない安易な意思決定を行ったりするような学習が行われているのではないだろうか。

こうした状況をふまえ、本シンポジウムでは、各シンポジストに、社会系教科教育における主権者育成の在り方を、カリキュラムレベルや授業レベルで提案していただき、社会系教科教育の原点に立ち返り検討していきたい。

コーディネーター 米田 豊 (兵庫教育大学)

谷田部玲生 (桐蔭横浜大学)

指定討論者 原田 智仁 (兵庫教育大学)

シンポジスト

論争問題を通して「政治的リテラシー」を涵養する

—「争点を知る」に着目して—

佐藤 孔美 (お茶の水女子大学附属小学校)

地域の枠組みから持続可能な社会の構築をめざす地理授業

永田 成文 (三重大学)

公民教育における主権者教育のあり方

—主権者教育の「基盤」教育としての法(関連)教育—

橋本 康弘 (福井大学)

---

全国社会科教育学会・総会(17:00~17:45)

講 堂

---

懇親会(18:00~19:30)

大学会館 食堂

---



第2日 10月9日(日) 於：共通講義棟

自由研究発表[2] (9:30~12:00)

【第12分科会】(1階 102教室)

司会者 広島大学 木村 博一

- (1) 9:30 地理的見方・考え方の育成を意図した小学校社会科授業の開発  
—日本と外国とのかかわりを捉える産業学習において—  
兵庫教育大学大学院 岩下 真一郎
- (2) 10:00 学び直しを組み込んだ小学校社会科学習  
—マルチ・スケールを用いた社会科学習の一考察—  
岐阜県山県市立桜尾小学校 植岡 靖司
- (3) 10:30 英国GCSE試験「シティズンシップ」はどのように行われているか  
—A中等学校の統制評価に着目して—  
広島大学大学院 河原 洸亮
- (4) 11:00 主権者を育てる「政策選択学習」における指導過程の研究  
—小学校社会科第5学年「農業」をもとに—  
広島大学附属東雲小学校 神野 幸隆
- 地域コミュニティづくりによる防災学習  
—リスク・コミュニティ論(災害社会学)の視点から—  
広島市立己斐小学校 発表取消  
原紺 政雄

【第13分科会】(1階 103教室)

司会者 広島大学 永田 忠道

- (1) 9:30 経済的合理性を組み込んだ小学校社会科授業の開発  
—利潤概念習得からリスク概念習得への発展を意図して—  
兵庫教育大学大学院 松浪 軌道
- (2) 10:00 グローバル社会の見方・考え方を育成する中学校社会科地理学習の単元開発  
—実社会と自己との関連を説明する学習を通して—  
廿日市市立七尾中学校 迫 有香
- (3) 10:30 前期初等社会科における概念形成学習の論理  
—J. オールマンとJ. プロフィによる単元構成論を手がかりにして—  
日本女子大学 渡邊 巧
- (4) 11:00 1950年代後半における郷土をふまえて考える小学校社会科授業実践に関する考察—渋谷忠男による「世界の地理」学習を対象として—  
愛知東邦大学 白井 克尚
- (5) 11:30 Border pedagogyの研究  
—主権者教育への活用の可能性に着目して—  
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 眞所 佳代

【第14分科会】(1階 104教室)

- |     |       |  |       |
|-----|-------|--|-------|
|     | 司会者   | 兵庫県立西宮香風高等学校   | 石川 照子 |
| (1) | 9:30  | 世界史教育における「聖戦論」に基づいた授業開発<br>—兵庫教育大学大学院                                    | 渡辺 一弘 |
| (2) | 10:00 | 複数の単元にまたがる課題解決的な歴史学習の試み<br>—世界史Bで「共生」を考える—<br>岡山県立岡山芳泉高等学校               | 黒田 和義 |
| (3) | 10:30 | 世界秩序を構想する平和学習<br>—カリキュラム開発と授業実践—<br>関西学院千里国際中・高等部                        | 野島 大輔 |
| (4) | 11:00 | 世界史学習論の整理と考察<br>—米国における2つのカリキュラムの比較を通して—<br>岐阜工業高等専門学校                   | 空 健太  |
| (5) | 11:30 | ドイツ政治教育におけるトゥールミン・モデルの活用法<br>—ギムナジウムと実科学校における獲得目標の差異を中心に—<br>金沢大学・福井弁護士会 | 野坂 佳生 |

【第15分科会】(1階 105教室)

- |     |       |  |       |
|-----|-------|--|-------|
|     | 司会者   | 兵庫教育大学   | 山内 敏男 |
| (1) | 9:30  | ワールド・カフェ方式を用いた協働的問題解決を図る中学校社会科授業開発<br>—第3学年公民的分野「日本の政治」の場合—<br>兵庫教育大学大学院 | 竹下 修央 |
| (2) | 10:00 | 「認知図」による子どもの「思考」の評価<br>—小学校第6学年「大昔の人々のくらし」を事例に—<br>京都ノートルダム女子大学          | 大西 慎也 |
| (3) | 10:30 | 都市の変遷を地図から考える社会科授業<br>—軍事都市「広島」から平和都市「ヒロシマ」への転換を手がかりにして—<br>広陵町立真美ヶ丘中学校  | 中谷 昇  |
| (4) | 11:00 | 中学生と学ぶ日本とアメリカの貧困と格差<br>—アクティブ・ラーニングとユニバーサルデザインの視点から—<br>立命館大学            | 河原 和之 |
| (5) | 11:30 | 判断基準を取り入れ評価する社会科授業開発<br>—歴史的分野における文化の学習を通して—<br>薩摩川内市立川内北中学校             | 松永 哲郎 |

【第16分科会】(1階 107教室)

司会者 福井大学 橋本 康弘

- (1) 9:30 社会科教育の研究・実践における「コンテキスト」の意義  
 -米国研究者の方法論の比較を通して-  
 広島大学大学院 守谷 富士彦
- (2) 10:00 高校のテスト・評価の変革を妨げているものは何か  
 -地理教員と生徒への調査から見えてくる評価システムの再生産構造-  
 広島大学大学院 岡田 公一
- (3) 10:30 ナショナル・スタンダードをめぐるダイアン・ラヴィッチの翻意  
 -教育史研究者・政策立案者としての活動と市民育成観に注目して-  
 山梨大学 後藤 賢次郎
- (4) 11:00 企業間関係の紐帯の度合いの違いに応じた、質の異なる情報を活用した町工場の  
 方略-東大阪市の零細製造業を事例とした社会科授業構想-  
 大阪府立交野支援学校四條畷校 松尾 光雄
- (5) 11:30 意志決定能力を育成する協働提案型授業モデルの開発研究  
 -GTMAとポートフォリオを組み込んだ授業分析・評価による授業モデル-  
 関西福祉大学 小野間 正巳

【第17分科会】(1階 111教室)

司会者 佛教大学 小林 隆

- (1) 9:30 小学校歴史学習における「社会を見る目」の獲得と活用  
 篠山市立味間小学校 小田 浩平
- (2) 10:00 災害の学習から考察する児童の価値判断・意思決定  
 京都教育大学附属桃山小学校 池田 恭浩
- (3) 10:30 経済的視点を組み込んだ小学校社会科授業開発研究  
 -第3学年「1店のコンビニから」の場合-  
 三木市立平田小学校 末永 琢也
- (4) 11:00 小学校6学年の政治学習における判断基準の多様性の体験を通じた政治参加意欲  
 の形成  
 神戸大学大学院 武貞 隆之
- (5) 11:30 ディプロマチック・センス育成を意図した小学校社会科学習  
 -キッシンジャー・高坂的視点に基づいた教材「帝国主義ゲーム」の開発を通して-  
 山口県宇部市立上宇部小学校 松村 淳

【第18分科会】(1階 113教室)

- |     |       |   |                  |
|-----|-------|---|------------------|
|     | 司会者   | 広島大学  | 草原 和博            |
| (1) | 9:30  | 「総合的問題解決能力」を育成する中学校社会科時事問題学習の授業開発<br>－小单元「三ツ城古墳出現の謎を探れ!」の場合－<br>広島大学大学院 | 竹内 和也            |
| (2) | 10:00 | 国際バカロレアDP日本語科目「歴史」の授業開発<br>－世界史トピック「20世紀の独裁主義的国家」－<br>広島大学<br>広島大学大学院   | 棚橋 健治<br>綾・吉川 友則 |
| (3) | 10:30 | 国際バカロレア科目 History の構造<br>－テキスト編成の特質から－<br>広島大学大学院                       | 辻 幸大             |
| (4) | 11:00 | 中学校歴史的分野における理論構築型授業の開発<br>－社会科学と歴史学を統合する試みを手がかりに－<br>富山県総合教育センター        | 堀内 和直            |
| (5) | 11:30 | 文化を基軸とする社会系教育の実践とその意義<br>関西学院大学   | 中村 哲             |

【第19分科会】(1階 204教室)

- |     |       |   |             |
|-----|-------|---|-------------|
|     | 司会者   | 香川大学  | 伊藤 裕康       |
| (1) | 9:30  | 少子高齢社会に対応した社会科教育内容開発<br>－介護制度を事例として－<br>兵庫教育大学大学院                       | 船石 弘隆       |
| (2) | 10:00 | 中国5県の教員採用試験社会科における憲法の出題傾向<br>ひろしま市民法律事務所 弁護士                            | 椋 大樹        |
| (3) | 10:30 | 生徒の代案提示力の育成をめざす授業開発研究<br>－クリティカルシンキングからクリエイティブシンキングへの発展へ－<br>兵庫県立尼崎高等学校 | 品川 勝俊       |
| (4) | 11:00 | 「学びの共同体」論に基づく学校改革のあり方に関する日中比較研究<br>岡山大学<br>岡山大学大学院                      | 桑原 敏典<br>金声 |
| (5) | 11:30 | 中国の小学校における公民的資質育成の特質<br>－民主的意識を視点として－<br>岡山大学<br>岡山大学大学院                | 桑原 敏典<br>王嬌 |

【第20分科会】(1階 205教室)

- |     |       |  |        |
|-----|-------|--|--------|
|     | 司会者   | 岡山大学   | 山田 秀和  |
| (1) | 9:30  | 映画「キングダム・オブ・ヘブン」で考える十字軍の時代<br>－映画を通して考える新しい十字軍の授業の試み－<br>山口県立宇部西高等学校 | 藤村 泰夫  |
| (2) | 10:00 | 米子高専における模擬選挙の実施と学生の意識<br>－国政選挙を通して－<br>米子工業高等専門学校                    | 加藤 博和  |
| (3) | 10:30 | 国際競争力を育む交渉教育<br>－ウズベキスタンと日本における実践を踏まえて－<br>大分工業高等専門学校                | 久保山 力也 |
| (4) | 11:00 | 未来予測を促す高等学校世界史授業の開発<br>－世界史B単元「日本と東アジア外交」の開発を通して－<br>大分県立別府鶴見丘高等学校   | 河野大樹   |
| (5) | 11:30 | 憲法の本質について考える社会科授業開発<br>－立憲主義、憲法改正限界説を題材として－<br>西九州大学                 | 松井 克行  |

【第21分科会】(1階 207教室)

- |     |       |  |       |
|-----|-------|--|-------|
|     | 司会者   | 大阪教育大学   | 馬野 範雄 |
| (1) | 9:30  | すべての学習者に社会事象を認識させるための小学校社会科授業<br>－「食料生産を支える人々(小学5年)」の授業実践をとおして－<br>大阪市立加美南部小学校 | 下館 史嗣 |
| (2) | 10:00 | 社会科における批判的思考と知識の構造の再構成<br>岐阜大学教育学部附属小学校  | 浅野 光俊 |
| (3) | 10:30 | クリティカル・シンキングを醸成するジグソー学習の授業実践<br>－国際連合を題材として－<br>兵庫県立柏原高等学校                     | 久保 哲成 |
| (4) | 11:00 | 変動する世界情勢と国際理解教育<br>－発信すべき日本の歴史と精神－<br>甲子園大学                                    | 熊谷 正秀 |
| (5) | 11:30 | 共感を持つことから討論の素地をつくる<br>－日清・日露戦争を通じて－<br>立命館宇治中学・高等学校                            | 河原 紀彦 |

【第22分科会】(1階 212教室)

- 司会者 大阪教育大学 峯 明秀
- (1) 9:30 高等学校公民科における若年雇用問題の授業開発  
ーキャリア教育批判の観点からー  
兵庫教育大学大学院 柏 拓希
- (2) 10:00 イギリス・オーストラリア・シンガポールのシティズンシップ教育の  
動向と特質  
南九州大学 酒井 喜八郎
- (3) 10:30 地理的概念を育成する小学校社会科の単元開発  
ーオーストラリア・ニューサウスウェールズ州を参考にしてー  
宮城教育大学 菅野 友佳 ・ 吉田 剛
- (4) 11:00 戦後中学校地理カリキュラムの動向にみる「学習の内容的側面」と「学習方  
法的側面」に機能する地理的概念の原理ーコンピテンシーベースの時代へー  
宮城教育大学 吉田 剛
- (5) 11:30 BYOD社会に対応するICT機器の効果的な授業利用  
ー大阪教育大学附属平野小学校の取り組みー  
大阪教育大学 峯 明秀

---

社会系教科教育学会・理事会(12:00～13:00)

共通講義棟3F 304教室

---

社会系教科教育学会・総会(13:00～13:30)

106教室

---

---

## 課題研究発表 (13:30~16:30)

---

### 課題研究 I 初等社会科は主権者の育成にどう取り組むか

(場所 共通講義棟 106教室)

主権者教育は、「社会の中で自律し連携・協働し社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員として主体的に担う力」の育成を目的とし、より幅広い世代からの政治参画が可能になったことを背景に、その推進には、①これまで以上に、国家・社会の形成者としての意識を醸成するとともに、②子供自身が課題を多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力を育み、③根拠を持って自分の考えを主張し説得する力を身に付けていくことが重要となっている(文部科学省主権者教育検討チーム)。とするならば、主権者教育は公民的資質の育成とどのように関わるのだろうか。初等社会科における主権者教育について検討するとき、広義には公私と公共、社会と社会参画、合意形成、意思決定を視点にした資質や態度育成の在り方が課題に挙げられるだろう。狭義には、政治とそのしくみ、法律、税、議会と選挙、地方自治と地域コミュニティ、公共施設とサービス、災害復旧といった関連する学習内容はどうか、学年を通したカリキュラムを構想すべきか等々、授業実践の視点に基づく多くの課題が挙げられるだろう。

本課題研究では、シンポジウムでの議論を踏まえ、初等社会科における公民的資質の育成と主権者教育の関係を整理しながら、理論と実践の双方から議論を深めていきたい。

コーディネーター 岡崎 均 (大阪体育大学)

指定討論者 佐藤 孔美 (お茶の水女子大学附属小学校)

課題研究発表

社会参画学習論による主権者教育構想と実践

吉田 正生 (文教大学)・笹岡 智聡 (熊谷市立玉井小学校)

小学校社会科が担う主権者教育

— 第3・4学年の地域学習と第6学年の公民学習を関連付けて —

植田真夕子 (弥富市立日の出小学校)

科学技術社会論の成果を踏まえた

単元「地域の人やモノを運ぶ道具」の授業開発研究

吉川 修史 (加東市立滝野東小学校)

本課題研究の主題である「主権者の育成」を「主権者教育」と同義とし、主権者教育を「民主主義社会における政治参加意識を高めるために、国や社会の問題を自分たちの問題として考え、捉え、行動していく主権者としての素養を身に付ける教育」(橋本康弘, 2016)と捉え、主権者教育は、「国や社会の問題を自分たちの問題として考え、捉える」ものと、それらをもとにさらに「行動していく」ものの二つに分けることができる。それらを仮に「思考・判断型主権者教育」と「参加・行動型主権者教育」と呼ぶならば、「主権者としての素養を身に付ける」という前提(目標)のもとでの主権者教育(とりわけ中等地理・歴史教育における主権者教育)においては、これら二つの立場を両極にして、何をどのように、どの程度学べばよいのだろうか。

一方、次期学習指導要領改定をめぐっての今日的な学力論議においては、学力の要素としての「知・情・意」(とりわけ情・意)をどのように扱え、組み合わせ、育てれば良いかが大きな課題となっているが、これは社会系教科教育における主権者教育にもそっくり当てはまる。また、これらの議論は、中等地理・歴史教育における「手段としての地理・歴史教育」(その場合、目的は公民的資質の育成となる)を目指すのか、それとも「目的としての地理・歴史教育」を目指すのかの原理的論争とも複雑に重なっている。

本課題研究においては、これらの論点を解きほぐしながら、中等地理・歴史教育のあり方について、シンポジウムを踏まえたさらに具体的なカリキュラムや授業のレベルで議論したい。

コーディネーター 水山 光春 (京都教育大学)

指定討論者 吉水 裕也 (兵庫教育大学)

#### 課題研究発表

自己の社会認識を相対化させる地理授業  
—アメリカ大統領選挙を取り上げて—

中本 和彦 (四天王寺大学)

歴史授業における「問い」と主権者育成に関する考察  
—三つのアプローチ—

二井 正浩 (国立教育政策研究所)

歴史の語りを価値判断させる歴史授業  
—中学校歴史的分野単元「文明を考える」を事例にして—

宮本 英征 (広島大学附属中・高等学校)



### 課題研究Ⅲ 新科目「公共」の授業をどう創るかー主権者の育成を目指してー

(場所 教育子午線ホール)

課題研究Ⅲ「中等公民教育」では、主権者の育成を目指して、新科目「公共」の授業をどう創っていくかについて、市民性教育、法教育、実践者の各々の立場からご提案をいただき、フロアの皆さんとともに議論を進めていく。

学習指導要領改訂をめぐる議論で、最も変革を迫られている領域の一つが中等公民教育であろう。教科の目標・内容・方法の基本原理の変革が求められているといっても過言ではない。目標面では、社会で主体的かつアクティブに行動できる市民の育成が掲げられ、内容面では、「何を学んだか(入力)」ではなく「何ができるようになったのか(出力)」が重視され、方法面では、アクティブ・ラーニングの導入やゲスト・ティーチャーの活用による指導方法の変革が志向されている。

このような状況を踏まえ、本課題研究では「主権者の育成」「新科目『公共』」「授業づくり」をキーワードに、これらの中等公民教育の在り方を、前向きに議論したい。各発表者には、「あなたが考える主権者とは何か」、「主権者の育成を目指して、新科目『公共』では、どのような授業が構想できるか」、「新科目『公共』のポイント、注意点は何か」を明確にしながら、ご提案をいただく。そして、フロアの皆さんとも積極的に意見を交換し、中等公民教育の“新しい、これから”を共に議論したい。

コーディネーター 中原 朋生 (川崎医療短期大学)

指定討論者 橋本 康弘 (福井大学)

#### 課題研究発表

市民性教育としての社会科カリキュラム論  
ー主権者育成を目指した文化学習を事例としてー

田中 伸 (岐阜大学)

法教育から見た主権者教育  
ー新科目「公共」での授業構想ー

根本 信義 (筑波大学・弁護士)

先哲の思想×政策で社会的課題を考える主権者教育の有効性と課題  
ー重視する価値を自覚しての政策提言ー

小貫 篤 (東京都立雪谷高等学校)